

特定非営利活動法人屋上開発研究会＋公益財団法人都市緑化機構
第20回スカイフロントフォーラム
都市緑化100年の計－2

～屋上緑化・壁面緑化の進化と都市環境の近未来～

企画趣旨

第20回となるスカイフロントフォーラムは、ますます重要となる屋上緑化・壁面緑化の技術革新から、都市環境の近未来を展望するというテーマを取り上げました。

屋上という道にして可能性豊かな空間をどのように活用していったらよいのか、それは都市の環境の向上にどのように貢献できるのか、建築家の立場から、また造園設計の立場から、そして、経済的な指標から その可能性を展望していただきます。

業務繁忙の折とは存じますが、多数の皆様のご参加を、お願い申し上げます。

記

第20回スカイフロントフォーラム
都市緑化100年の計－2

～屋上緑化・壁面緑化の進化と都市環境の近未来～

開催日：平成27年3月18日(水)

時 間：13:30～18:05(受付開始13:15～)

場 所：日比谷公園・日比谷図書文化館 ホール

開会の挨拶(13:30～13:40)

立石真(たていし まこと) 特定非営利活動法人屋上開発研究会理事長

講演1：(13:40～15:00)

基調講演『明日の都市緑化』

輿水肇(こしみずはじめ) 明治大学農学部教授／公益財団法人都市緑化機構理事長

講演2：(15:15～16:00)

『「公園」のような屋上建築』

伊藤麻里(いとうまり) 一級建築士 UAO株式会社代表取締役

建築は、“時代の要請×新しい価値への気付き×技術”の統合としてできています。近作である「サイエンスヒルズこまつ」では、より大掛かりな体験学習・交流施設としての複合機能に、台地と融合するフォームを与えて、建築とランドスケープを融合させ、屋上を「公園」のように機能させ、新たな公共空間の価値を提案しました。また、東京の”一等遊休地屋上”の新たな利用価値について取り組んでいる事例をご紹介します。

講演3：(16:05～16:50)

『都市緑化の経済的価値』

田島夏与(たじまかよ) 立教大学経済学部准教授

都市緑化には環境改善などの効果が認められる一方で、土地の効率的・経済的利用の観点から削減の対象となりやすかった。近年、世界中の都市間競争の中で都市環境の「質」が投資の観点からも問われるようになり、緑や都市アメニティに投資することが地域経済にプラスの効果をもたらすことが知られてきた。緑の持つ経済的価値の考え方と、世界の都市において投資の観点からも有意義であると考えられる緑地創出事例を紹介する。

講演4: (16:55~17:40)

『豊かな暮らしと社会を構築する屋上園芸』

木村正典(きむらまさのり) 株式会社グリーンワイズプロデューサー

ジャパンハーブソサエティー 専務理事

株式会社カリス成城 ハーブ研究所主席客員研究員

園芸には人を健康にし、人と人をつなぐ力があります。屋上利用として、個人住宅では家庭菜園、集合住宅ではコミュニティガーデン、学校では教育ガーデン、公共施設では市民農園、病院や福祉施設ではセラピーガーデン、工場やオフィスビルでは社員の憩いのガーデン、商業施設では地域住民の集うイベントガーデンといった園芸の場にすることによって、ここでの園芸を居住者、児童生徒、施設利用者、社員等がおこなうことで、人と人がつながり、健康な暮らしを創出し、地域の結びつきを強めて、豊かな社会を構築することが期待されます。そのような事例を見ながら、都市緑化によるこれからの社会づくりについて考えたいと思います。

INFOMATION(17:45~18:00)

『WGIC2015/世界屋上緑化会議名古屋大会2015』

菊池佐智子(きくち さちこ) 山梨県富士山科学研究所 環境共生研究部研究員

植田直樹(うえだ なおき) 株式会社三菱地所設計 都市環境計画部副部長

閉会の挨拶(18:00~18:05)

宮下和正(みやした かずまさ) 公益財団法人都市緑化機構 専務理事

*** 当日の都合により、講演者の発言順・時間・及びタイトルが変更される場合があります。**

参加者: ディベロッパー、ゼネコン、ハウスメーカー、造園業者、設計会社、資材メーカー、
施主、学生、一般聴講者ほか

定員: 200名

参加費:	屋上開発研究会会員/都市緑化機構会員	3,000 円(当日5,000 円)
	会員紹介	3,000 円(当日5,000 円)
	一般	4,000 円(当日6,000 円)
	学生	1,000 円(当日2,000 円)

申し込み: 別紙お申込用紙に必要事項を記入のうえ、事務局まで FAX または E-メール添付でお送りください。

2015年2月1日~2015年3月11日

お申し込み先着順で、定員になり次第締め切ります。

聴講券: 受付番号を押印した申込書を聴講券として FAX で返送しますので、当日ご持参ください。

【建築 CPD/造園 CPD】(申請予定)

このフォーラムは 【建築 CPD】の認定プログラムとして「4」単位が認定されます。

【造園 CPD】の認定プログラムとして「3.5」単位が認定されます。

《会場案内図》

日比谷図書文化館 大ホール 東京都千代田区日比谷公園1-4

地下鉄千代田線【霞が関】C4出口 徒歩5分 丸ノ内線【霞が関】B2出口 徒歩5分

日比谷線【霞が関】B2出口 徒歩5分 三田線【内幸町】A7出口 徒歩3分



参加費お振込み先：三菱東京UFJ銀行 四谷支店 普通口座 1076865
特定非営利活動法人 屋上開発研究会 代表 立石 真

懇親会のご案内

フォーラムの終了後に場所を移して講師と親しくお話する懇親会を予定しております。この機会に是非お仲間と一緒にご参加ください。

とき **18:00~20:00**
ところ 「LIBRARY DINING」
日比谷図書文化館 ホール すぐ隣
参加費 **4000円**

フォーラムお申し込みの際にご予定をお知らせください。
懇親会の参加費は、当日懇親会場でお受けいたします。

特定非営利活動法人屋上開発研究会 事務局
〒100-0011 東京都千代田区内幸町2-2-3 日比谷国際ビル B136
T03-6205-4071 F03-6205-4072

特定非営利活動法人 屋上開発研究会 + 公益財団法人 都市緑化機構
 第20回スカイフロントフォーラム
 都市緑化100年の計-2
 ~屋上緑化・壁面緑化の進化と都市環境の近未来~

参加申込書

第20回スカイフロントフォーラムへの参加を申し込みます。

参加者氏名		
勤務先(所属・役職) 通学先(学部・学科)		
TELor 携帯電話		
FAX (必須)		
E-mail		
領収書の有無	要(会社名・個人名)	不要 (該当項目に○)
参加者の所属	<input type="checkbox"/> 屋上開発研究会正会員 <input type="checkbox"/> 都市緑化機構正会員	<input type="checkbox"/> 賛助会員 <input type="checkbox"/> 協力会員 <input type="checkbox"/> 学生 <input type="checkbox"/> 会員紹介 <input type="checkbox"/> 一般
会員紹介者	(所属)	(氏名)
懇親会の参加	参加する	参加しない

■スカイフロントフォーラム参加費お振込先

三菱東京UFJ銀行 四谷支店 普通口座 1076865
 口座名 特定非営利活動法人屋上開発研究会 代表 立石 真

.....
 ..

第19回スカイフロントフォーラム 聴講券

受付番号	参加者氏名

受付番号を押印した申込書を聴講券として FAX で返送しますので、当日ご持参ください。

特定非営利活動法人屋上開発研究会 事務局
 〒100-0011 東京都千代田区内幸町2-2-3
 日比谷国際ビル B136

T03-6205-4071 F03-6205-4072 Email info@sky-front.or.jp



《講師プロフィール》

輿水肇(こしみずはじめ)

明治大学農学部教授 公益財団法人都市緑化機構理事長 特定非営利活動法人屋上開発研究会副理事長

木村正典(きむらまさのり)

株式会社グリーンワイズプロデューサー ジャパンハーブソサエティ 専務理事
株式会社カリス成城ハーブ研究所主席客員研究員

東京農業大学農学科副手,助手, 委員 日本熱帯農業学会庶務幹事 所属学会 団体 人間 植物関係学会 園芸学会 International Society for Horticultural 日本熱帯農業学会 日本生物環境調節学会 民間企業との共同研究の実績 産学に関わる競争的研究資金獲得の実績 主な公開特許保有する主な研究設備,測定機器 装置 NEDO,経済産業省等の公的資金によるプロジェクトとして提案したいテーマ産学連携への思いや産業界へのひとこと著書 共著など

田島夏与(たじまかよ)

立教大学経済学部准教授

1996年東京大学農学部農業生物学科【緑地学専攻】卒業。1996-98年建設省都市局にて公園緑地行政に従事。2002年米国タフツ大学大学院経済学研究科修士課程修了、2005年同大学院博士課程修了。PH. D(学際研究)。2006年4月より立教大学経済学部経済政策学科専任講師を経て、現職。専門は都市・環境経済学及び政策。

伊藤麻里(いとうまり)

1974年栃木県生まれ。1999年東洋大学大学院工学科建築学専攻修士課程修了。同年株式会社スタジオ建築計画入社。2001年ATELLER KEMPE THILL architects and planners(オランダ)に所属。帰国後2006年アトリエインク設立、2013年UAO株式会社に変更して現在に至る。